

日中と夜間における建物ファサードの視覚的变化 横浜市の馬車道を対象として

日本建築学会環境系論文集/ No.621/ pp.9-15/ 2007年11月

正会員 池田圭介君

日中と夜間を通した景観整備の取り組みがなされることは少ないことから、本研究では、昼夜を通した景観整備を進める上での視点を導き出す目的で、建築用途が混在する横浜市馬車道を取り上げ、日中と夜間の街並みの輝度・色度の測定を行い、測定値をもとに見え方の違いの説明を試みた。ファザードの要素によって輝度の変わり方は異なり、外壁の輝度は昼夜で分布が大きく離れるが、窓と看板では、両者の分布がある程度重なることが分かった。同様に色度についても幾つの特徴を見出し、これらの組合せにより昼夜での見え方の変化を説明できることを示した。このような問題意識とそれに関する分析の結果は貴重であり、今後の景観設計の分野での発展も十分に期待できる。